

らぶれた

度重なる物価高で生活のしづらさを感じる日々ですが、今を生きる自分自身の人生は一度きり。未来を生きる子どもたちの人生も一度きり。今は今で楽しみながらも、さらなる物価高を招かないよう自分たちにできること、未来の子どもたちに残せることを一歩ずつ取り組みたいですね。

お食事処

そば処

どうする???

天神ランチ難民



早いものでオフィスを天神に移転してこの夏で丸11年を迎えます。引っ越してきた当初は天神地下街につながる色々なビル地下階の飲食店が多く、また大通りから1本入れば1階路面店もコスパの良いお店がいくつもあり、ランチで長蛇の列はそんなに多く見かけなかった気がします。もともとランチで並びたくない派なもので、避けていたのかもしれませんが・・・。

8年ほど前に天神ビッグバン構想が具体化してブロックごとに随時計画発表され、5～6年前からあちこちの飲食店が移転、閉店となり、ビル取り壊しの工事が始まりました。建替え後にそのビル街区に戻ってくる人気飲食店もあるにはありますが、取り壊し～建築工事を数年間待つ家賃の高くなる新築ビルに戻ってくるのは、客単価との見合いでそう簡単にはいきません。実際に移転して戻ってこない、またはこれを機に店じまいするところがほとんどの方でしたね。



建設中の(元)福岡ビル(5階の弊社より撮影)



天神ビジネスセンタービル

僕のような「千円までランチ派」は、ビッグバンの街区が事業着手するごとに難民状況となり、コンビニ比率がどんどん高まっていったわけですが、そこに3年前からの新型コロナも追い打ちをかけ、度重なる緊急事態宣言でますますコンビニ比率は高くなる一方でした。

一昨年秋にビッグバン第1号の「天神ビジネスセンター」が完成。昨年春より地下階でオープンした「天神イナチカ」ですが、オープン間もない頃に通りがかりに様子を伺うと、九州初登場も含め颯爽とオープンし、ランチグルメの皆さんには格好のスポットになっているようです。僕は夜の夕食と旅行先では、食べ歩きが趣味なので情報収集にこだわりますが、毎日のランチは割とさっさと済ます方なのでその日は雰囲気眺めながら結局地上に出て、市役所向かいのいつもの蕎麦屋でカツカレーそばをいただきました～。



ビジネスセンター地下の「天神イナチカ」

とはいえ、ここ数年で2回くらい値上げと相成り、いよいよ「千円までランチ派」にとっては王手がかかっております。諸物価高騰の折、お店の決断はファンとして支持します。(偉そうに言っておりますが…(^_^)要は惚れた弱みですね。)はてさてオイルショック、第二次オイルショックの後のように物価とともに経済も成長して、10年くらい先にこの店も僕も「2千円ランチ派」になっているのでしょうか？



いつもの蕎麦屋さん「みずだ庵」

折しも昨年暮れには水鏡天満宮～西鉄インまでの街区についてもリリースされました。あの横丁には幾つか行きつけのお店があります。横丁の飲食店通りの雰囲気を残したブロックも計画されているとのことでしたが、果たしてどうなることやら…。一方でコンビニはビル通用口近くのローソンよりもさらに近い明治通り側ビル正面玄関の2軒隣りにセブンイレブンがオープン予定です。コンビニ比率がもっと高まるのか、どうする天神ランチ難民！の巻でした～。



代表取締役 樋口繁樹

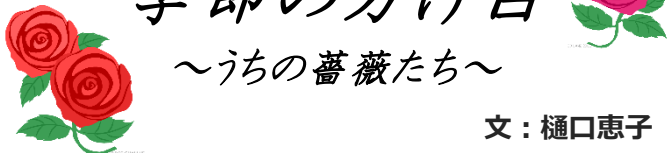
2023年
3月号
vol.89

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口 繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL 092-737-2211
FAX 092-737-2212
弊社のHPは下記URLより
ご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：渡辺、藤吉

手洗い・うがい
今後も続けましょう



季節の分け目



～うちの薔薇たち～

文：樋口恵子

節分とは「季節を分ける」つまりは季節が変わる日のことをさすそうです。その中でも春は新年の始まりでもあると言われ、重視されるようになったそうです。

毎年節分の時期は1月1日の新年とは違った新たな気持ちで期待や希望を胸にいろんなことを誓いますが、今年は年明けからすっきりと晴れないお天気が続く、体調もイマイチ優れずで節分の日を迎えました。『ドヨ～ン』とした気分を払拭するにはと、私なりの『季節を分ける』行動を開始！

まずは生きとし生けるものを愛でる。家の中に生花を生けこみ、華やぎ空間作り作戦。映る美しさと花の香りが心に潤いを与えてくれ、気分はそれなりに上がりよかったです。

そして第2弾。我が家の庭？(バルコニー)の花たちにも季節を分ける儀式を行いました。ここ数年、手塩にかけて育てている薔薇たちです。四季咲きの薔薇なのに9月～11月にしか花を開花させないように、真夏には過酷な暑さを耐えさせてせっかく付

けた蕾も全部落としてしまします。一気に9月から咲かせるという開花方法で、朝5時過ぎからバルコニーで飽きもせず眺め話しかける間は私の心をどんなに癒してくれたことか…。(写真参照くださいませ♡)



手塩にかけた薔薇たちの美しい姿

大きなものでは苗木が2メートル近くの高さまで大きくなったものもあり、愛しいといっても過言ではありません。花の季節が終わり休眠状態に入った薔薇たちに次の季節を迎えてもらうためには、『剪定』なるものを行います。久しぶりのお天気と休日が重なり『この日がこの子たちのための季節の分け目だ！』と思い立ち『剪定』開始。剪定ばさみで思い切り、切り込みを行い『また生き生きと大きくなるんだよ！』と心で願いながら4分の1くらいのボリュームにまで、バツサリと剪定いたしました。

薔薇で埋め尽くされていたバルコニーがすっきり。次の季節にまた元気な姿の成長していくことを願い剪定終了。小さくなった薔薇たちを眺めていたら、剪定したての切り口からいくつもの水滴が滴り落ち

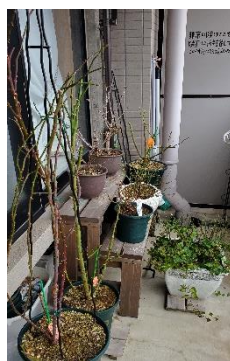
ているではないですか！散水もしていたのに。

『生命力』を強く感じた瞬間でした。

驚きと同時に生きる力を感じ元気をもらいました。今年はこの剪定により『季節を分ける』という意味を教えられたような気がいたしました。小さな感動を見逃さずに、この瞬間に居合やすことができたことに感謝し、私自身の気持ちの「季節を分ける」ができたように思えて元気に過ごせそうな気がいたします。



Before (剪定前)



After (剪定後)

薔薇の話ばかりでしたが薔薇の横でひっそりと過ごしていた桜の苗木2鉢にもしっかりと蕾が付いており、春の訪れを知らせてくれていました。



今年の桜もきっとこんな感じで咲いてくれるでしょう

免許皆伝

MENKYOKAIDEN

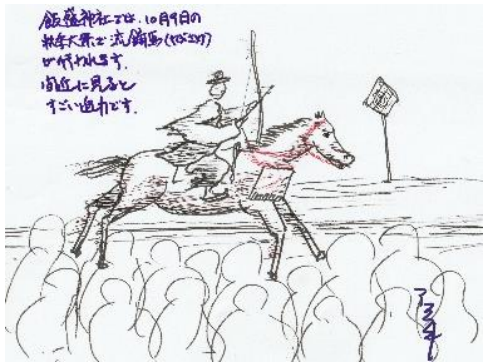
その67

『アラキが家を建てたとき』の巻 その1 土地探し準備編

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で67号となりました。

今年還暦を迎えるアラキは、先日飯盛神社で厄払いをしていただきました。これまでの年月を振り返り、これから日々新たな気持ちで精進します。

還暦をきっかけに、らぶれたーでは自分自身の家づくりを振り返ってみます。アラキが自分の家づくりをしたのは、もう20年以上前のことなのですが、記憶が



残っているうちに文章にして、数回に分けてご紹介します。…毎回らぶれたーの原稿のネタに困ってしまっていたので、数回分のネタを決めてしまえば楽になるというのがホントのところなのですが…

家づくりのおおまかな流れは、①土地を探し→②自宅の設計→③工事→④完成・入居となります。今回は土地探し準備編。どこに家を持つのか。ラプロスのお客様に希望を尋ねると、多くの方は「今の家の近く」、「実家の近く」、「交通や生活の利便」など希望エリアを絞って土地探し・家

探しをされています。中でも「子供に転校させたくない」と、現在の校区に限定されて家を探す方はかなり多いです。このように希望エリアを絞るのは大切なことです。というのも、不動産は唯一無二です。洋服や自動車とは違い、同じものは二つとありません。良い物件が売り出されているのを見つけて、買おうかどうかと迷っている間に他者に買われてしまうと、同じ物件はもう二度と手に入りません。希望エリアを絞り、そのエリアの情報を集めたり予算を立てたりして、良い物件を見つけたときには即断即決できるよう心の準備をしておくことは重要なのです。

アラキの場合、家探しを始めたときには子供はまだ未就学でしたので、学校区や希望エリアはありませんでした。当時はラプロスではなく別の会社に勤務しており、当時住んでいた太宰府市内の借家から職場まで片道14kmの道のりを、自転車で1時間近く！かけて自転車通勤していました。毎日がサイクリングです。若かったですね。

これから歳をとっていくのですからもっと近いところに住みたいと考えました。そこで福岡市の地図を買って壁に貼り、職場から1kmごとに同心円をグルグルと書き込み、自転車通勤30分圏内となる7kmの範囲を目安に土地を探すことにしました。2001年初めのことです。

その当時は、すでにインターネットでも不動産情報を得ることはできましたが、不動産情報誌や不動産業者からのダイレクトメールなどの紙媒体での情報もまだまだ現役でした。業者との通信手段はメールではなくFAXが使われていましたので、土地探しを始める前にまずFAXを買いました。時代を感じますね。

毎週ネットで土地情報を

検索したり、情報誌を見て不動産業者に問い合わせたりして希望に合う土地を探しました。業者からFAXで送られてきた売地の物件情報を見て、良さそうな土地があれば週末にシトロエンZXブレークに乗って家族と見に行くというのを何ヶ月も続けました。

現地まで売地を見に行っただけは、ここは坂の上だから嫌とか、あそこは夜道が暗そうとか、こっちは隣の家が気味悪いとか、予算の範囲だけど狭いとか、安くて広いけど敷地の途中に段差があるとか、ダメ出しをしながらアラキ夫婦は目が肥えていき、だんだんと即断即決ができる状態に近づいてきました。

当初の予定では1年かけて土地を探し、その後自分で設計して工事と進めば、長女が年長さんになるときに新居に入居して、近くの幼稚園に転園させれば、新しくできたお友達と一緒に校区の小学校に入学できるという考えで土地探しをスタート。そして、土地探しを始めて半年ほど経ったとき、これは！と思う土地に運命的に出会ったのでした。

(以下、次号に続く。)



おすすめの〇〇

～ ケーキショップ ～

文：渡辺



ラプロスの販売中の物件に足を運ぶ際に訪れた、私のおすすめのお店についてご紹介します。

■ CAFUNEEE (カフネ)

福岡市城南区松山2丁目34-17

このお店は「プロスペリテ七隈駅」を販売していたときに初めて訪れたお店です。外観も内装も可愛いケーキ屋さんです。オーダーメイドケーキに力を入れていて、その美しさたるや、女子でなくてもときめくこと間違いなしです。でも、何も特別な日だけじゃなくても食べなくなるのが定番人気商品のバスケットケーキ。“ワインに合う”を

テーマに作られた数々のケーキの中でもひとときワインに合うと言える濃厚で大人なケーキです。この定番の「カフネバスチー」の他に、日によってキャラメルバスチーやゴルゴンゾーラチーズケーキなど、違った種類も登場します。カフネバスチーには付属のスパイスをかけて。どのケーキに会えるかはお店に行ってお楽しみです。子供向けのデコレーションケーキ体験ワークショップをされていることもあり、地域の皆さんに愛されるケーキ屋さんです。

【お店のInstagram】

@cake_shop_cafunee_fukuoka

■ Bakeshop Cukr (ベイクショップ ツクル)

福岡市城南区別府2丁目2-2

こちらのお店は「プロスペリテ別府II」を販売していたときに初めて

訪れたお店です。インスタで知り、気になって行ってみました。お店に入るとショーケースにスコーンや焼き菓子がずらり。ここは焼き菓子とケーキのお店ですが、特にスコーンがおすすめです。見た目もとっても魅力的ですが、外側はカリッとサクサク、中はしっとりした、味も見た目も私の理想のスコーンです。こちらのお店も、数種類あるスコーンのうち、その日何が並んでいるかはお店に行ってお楽しみ。

そして驚いたのが、私が初めて来店したとき



のことなのですが、私の前に大量購入のお客様がお二組。こう言うは何ですが、お二人とも「スコーンちゃ何ね？パサパサしとるっちゃないかね？」と仰っしゃりそうなご年配の常連さんでした。年齢問わず愛されるお店のようです。

ちなみに、パサパサもしてませんし、喉に詰まるけん飲み物がある～ということもありません。

【お店のInstagram】

@bakeshop_cukr

まだまだ皆さんにお伝えしたいお店がたくさん。現在販売中の物件周辺のおすすめ店についてもプロスペリテのInstagramでお知らせしたいと思います。



ご紹介キャンペーン

住宅のご購入を検討されているご家族様・ご友人様をご紹介ください

5 商品券
万円分

ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者様からの紹介でご成約に至った場合

新築一戸建て「プロスペリテ」ホームページはこちら



新築一戸建て「プロスペリテ」Instagramはこちら



編・集・後・記

文：藤吉

今や私たちの生活に無くてはならないもののひとつが、コンビニエンスストア。立地や広さにより品揃えも違っており、〇〇限定や〇〇とコラボなど、独自に開発された商品も多く並んでいます。商品の購入だ

けでなく、各種料金の払込みなど営業時間の長さからも便利です。生活用品も充実してきました。仕事帰りにコンビニに立ち寄りスイーツなどを選ぶひととき…これは会社から家に帰り着くまでの時間、ONからOFFへ切り替える「儀式」だそうです。もちろんランチ購入にも利用していますよ。

らぶれたーのご意見・ご感想をお聞かせください！

ラプロスの広報誌「らぶれたー」は2008年12月に創刊し、今号で89号となります。ここまで発行を続けることができたのも、温かく見守っていただいた皆さまのおかげです。皆さまのご意見ご感想をぜひお聞かせください！

住所：福岡市中央区天神1-12-1-5F
FAX：092-737-2212
MAIL：info@lapros.co.jp
「らぶれたー係」まで